

物理学会領域2運営会議@北海道大学

1. 領域2新役員について

- ・ 役員会からの提案者3名全員承認された。(石井康友(原子力機構), 樋田美栄子(名大), 吉村信次(核融合研))

2. ビーム物理領域との合同セッションについて

- ・ 次の学会で予定している合同セッションについて説明が代表からなされ, これに対する意見が出された. 主なものは以下の通り.
- ・ 一般的に他分野との合同セッションは望ましい.
- ・ この種の前向きな役員会提案は事後承諾でよいだろう. インフォーマルミーティング[運営会議]での承認を取っていると時間的にタイトである.

3. 学会連携について

- ・ 代表より学会連携の主旨と現状が説明され, これに対する質問や意見が出された. 主なものは以下の通り.
- ・ 学会連携とはどこまでの枠組みを意味しているのか? これは他学会との連携であって物理学会内にある領域間を越えてしまっている.
- ・ 現在行っている3学会連合は続くのか? これとは別に2009年に8学会連携を行おうというのか? →3学会を発展的にスクラップ&ビルドする事を考えている(小野代表).

4. 理事会申し出について

- ・ 役員会より配布された資料(理事会への申し入れ)について代表より説明がなされ, これに対する質問や意見が出された. 主なものは以下の通り.
- ・ この申し入れは議論が紛糾する内容を含んでいるので注意がいる. 理事会において各領域に対する考え方には個人差がある. 各領域を1個の活動単位と思っていない人がいる一方で, アクティブな1個の活動単位と認めている人もある.
- ・ そもそも提案3にある独自予算化は難しいのではないか?
- ・ 現在行っている3学会連携を膨らませてそれから独自路線に進むと考えるのか? それとも一挙に進めようというのか? →先に述べたように段階的に進めたい(小野代表).
- ・ 独自予算化にすると赤字に対する責任が出てくる.
- ・ 提案1と3の一部をまずは提案してみたらどうか? 文言にも注意を払って, 「外部資金や寄与を導入しますよ。」程度にしておいた方がよい. 「独立」というような言葉はあまりにもきつい.
- ・ この申し出については理事会において高部元代表が話した時から動いている経緯があるので, これまでの進捗状況をしっかりと把握する必要があるだろう.

5. 大会キーワードについて

- ・ 代表から大会毎に設ける「大会キーワード」について説明がなされ, これに対する質問や意見が出された. 主なものは以下の通り.
- ・ 第1キーワードの「企画セッション」はどうなったのか? →日程的に対応する事ができないので, 今回「大会キーワード」を提案している(小野代表).
- ・ この種の提案も話が複雑になるので, 役員会で適宜決めて事後承諾取ればよいだろう.
- ・ 各大会毎の「大会キーワード」のような1回限りのものではなくて, ある一定期間の使えるtentativeなキーワードを役員会から提案することでよい.

6. 日本学術会議からの報告

- ・ 伊藤(公)氏より「学術の動向」に関する報告があった.
- ・

7. ジャーナルへの論文投稿のお願い

- ・ 物理学会より資料が配布され、JPSJ（ジャーナル）への積極的な投稿依頼がなされた。

8. 招待講演提案

- ・ 産総研・平野氏によるダイナモが提案された。
- ・ 上記提案に対して、ダイナモは対象が広いので、個別の閉じ込め方式に特化した内容になることがないよう要請がされた。

9. シンポジウム提案

- ・ 前回落ちた「エネルギーと保存則（吉田）」が再提案された。領域 11 との共催を考えている。

10. 退任挨拶と新代表挨拶

- ・ 小野代表より退任の挨拶と石原副代表より抱負が述べられた。

以上

(比村治彦, 澤田圭司)